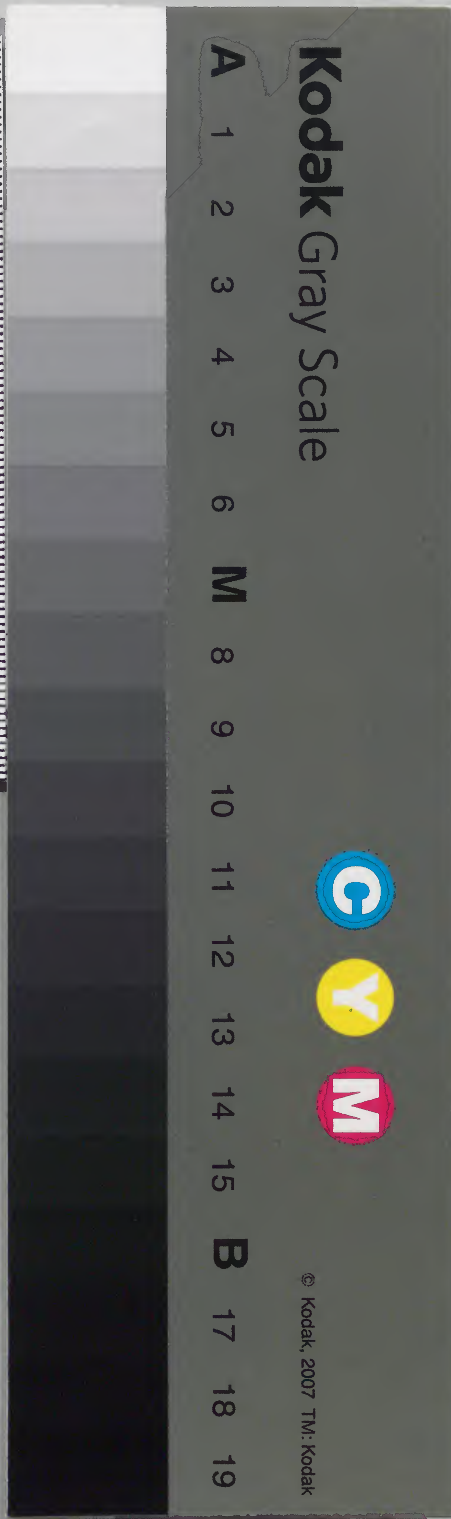


玉露叢

自延宝四年  
同七年  
卅四  
卅

内閣文庫			
番號	和	15795	
冊數	14	(10)	
函號	150	84	

内閣文庫			
一	一	一	和
五	五	五	書
函	冊	號	類
一	四	九	
架	冊	號	



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

玉露叢卷三十二

延寶四年正月三日本院御所御普請惣

奉行香仙石因幡守ヲ仰セ付ラレ

一同月同日井伊掃部頭直澄卒去

一同月八日御役替人面々兼松又四郎跡

役ヲ御鑓奉行大久保新八郎右同新三

枝平右衛門跡役設乐甚三郎御鉄炮頭



浅草文庫  
延寶四年

設乐甚三郎跡役ヲ金田惣八郎ニ仰セ付  
ラ

一 同月十二日水戸少將殿昨十一日ニ前髪  
ヲ執ラセラル、ニ依テ今日上使トノ土  
屋但馬守ヲワカハサル

一 同月十三日ニ秋田安房守盛季模及大坂  
御城中ニ於テ病死

一 同月廿五日甲府宰相公疱瘡快驗ニ付テ  
上使稻葉美濃守ヲ以テ甲府宰相殿へ銀  
五百枚時服二十甲府虎松殿へ時服十甲  
府殿毎堂順牲院殿へ銀百枚縮紗十卷ヲ  
遣ハサル家司小臣醫師等女中十トヘモ  
御祝儀ヲ玉フ同キ御臺様ヨリ宰相殿ニ  
縮紗三十卷ニ種一荷虎松殿ニ種一荷

順性院殿へ縮紗廿卷ヲ女中御使ニテ遣  
サレ

一 同月廿七日ニ井伊玄蕃頭へ上使久世大

和守ヲ以テ父掃部頭香奠白銀五百枚遣

ハサレ同キ御産所ヨリモ白銀三十枚ヲ

玉フ

一 二月七日ニ滝川長門守願ニ依テ役儀御

免則跡役ヲ大久保山城守且亦大久保山

城守跡役ヲ中根大隅守ニ仰セ付ラレ

一 同月十日ニ百人組ノ頭安藤彦四郎願ニ

依テ役ガメシ

一 同月廿一日内藤若狹守ヲ御側衆仰セ付

ラレ則チ若狹守跡役大番頭永井佐渡守

ニ仰セ付ラレ

一 同月廿三日 小出若狭守事下野守 改  
ム

一 同月廿五日 井伊掃部頭遺領三十万石相

違十ノ嫡子玄蕃頭ニ玉ヲ依テ今日継目

之御礼トメ御太刀正會代黄金五十枚綿

二百把同キ御臺所へ銀百枚縮紬廿卷ヲ

献上

一 同日 井伊掃部頭遺物トメ御脇指貞宗代金二百

枚御茶入淳丸同キ御臺所へ御屏風一双

扇子流ニ御香炉青磁ヲ指上ル

一 三月四日 御役替之面々御書院番頭永

井土作守跡役稻垣藏人百人組ノ頭安藤

彦四郎跡役ヲ水野半左衛門御持筒頭水

野半左衛門跡役酒井小平治御弓頭酒井

小平治跡役渡辺権太夫ニ仰セ付ラル

一 同月十五日ニ阿蘭陀カヒ夕ニ献上物ヲ

捧上メ御目見此時毛替ノ蹄馬ニ足献上

又

一 同日松平備前守娘堀周防守へ縁組ヲ仰

セ付ラル

一 同月廿三日ニ本多佐左衛門繼目ノ御礼

トメ金廿枚時服六ヲ献上同キ本多飛騨

守遺物トメ御刀志津兼氏代金九枚ヲ指上ル

一 同月廿七日ニ松平將監夙願ノ通り隠居

ニ依テ本領二万二千二百石ノ内二万千

二百石嫡子松平對馬守千五百石同五百石新田

二男松平大学千石新地三男松平仁右衛

門ニ分テ玉ノ是願ニ依テ十リ

一 同月晦日松平越後守城下高田出火烈風  
ニ侍屋鋪二百四十軒余町屋三十七町  
焼失ス城内ハ異変ナシ

一 四月三日ニ永井伊賀守病氣ニ依テ奉書  
ヲ以御役御免則千戸田伊賀守ハ跡役京  
都頭司代ヲ仰セ付ラル且亦壹万石御加  
増ヲ玉フ都合三万千石

一 同日山科殿息女ヲ順留院殿養女ニ十廿  
シ甲府殿簾中ニ仰セ付ラル

一 同月八日ニ松平將監隱居ノ御礼トメ御  
刀吉巴一文字代金ヲ進上

一 同月十一日ニ金森飛騨守嫡子金森五之  
女初テノ御礼トメ綿百把金馬代ヲ献上  
同キ相馬出羽守第東宗女初テノ御礼ト

夕時服三銀馬代指上儿

一同月十三日去儿六日二伏見殿御簾中好

君薨逝

一同月廿五日二森内記願二依于同性伯春

守領知之内新田一万五千石森對馬守分

千玉了

一同月晦日新庄民部死去

一五月三日遠藤備前守死去

一同月五日之午ノ割ヨリ同キ八日ノ于甚

雨依于五条之橋三条之橋等押流又大坂

七先月廿六日ヨリ當月ノ于雨降于天満

橋流儿其外河列毛洪水ス

一同月廿一日御書院番頭三枝隱岐守願二

依于役御免



一 同月廿七日ニ御鉄炮頭弓削多忠九衛門  
 跡役天野弥右衛門ニ仰セ付テ  
 一 同月廿八日駿河御城代松平左近太夫願  
 ニ依テ役御免  
 一 六月二日ニ亀井能登守城下石及津和野  
 大地震取々破損左ノ如シ  
 一 屋鋪多門藏石垣塙六七間ホト宛崩ル多

門八七取傾ク  
 一 川筋ノ石垣五百三十三間崩ル  
 一 家中侍屋鋪ノ石塙大分破損  
 一 町中ノ家藏大分破損  
 一 家数都合百三十三軒倒ル内十六土藏ニ  
 一 田畑五十間ホト式ハ濱付邊式ハ水除崩  
 ル

一 堤三ヶ取損ル  
 一 潰五ヶ九十二ヶ取  
 一 溝土午川除共凡百三十六間崩ル  
 一 大釜八百二十一破ル  
 一 死人七人内男五人女二人  
 一 怪我シタル者三十五人男二十四人女十  
 一人

一 午五疋内三疋八死シ二疋八ヶが  
 右石 湯津山野城下ヨリ西北ハ海手長門  
 一 國坂下ノ八里程東へハ廿里程ユリケル  
 一 同月三日ニ駿府取司代ヲ松平豊前守ニ  
 仰セ付ウルニ千石御加増也  
 一 同日ニ大御番頭松平豊前守跡役堀田對  
 馬守御書院番頭堀田對馬守跡役ヲ荒川

出羽守跡役ヲ米津周防守仰セ付ラル

一同月八日ニ本理院殿三回御忌之御法事

傳通院ニ於テ千部御執行今日相濟ニ依

テ御名代ニ稻葉美濃守叅詣御布施トノ

傳通院へ白銀ニ百枚ヲ玉ノ外ノ僧中ハ

爰ニ嘗ク

一同月九日ニ久永源兵衛御持頭本多平右

衛門御鉄炮頭宮城主殿御步行頭ニ仰セ

付ラル

一同月晦日ニ六々伊賀守願ノ通り隱居家

督之儀者嫡子佐渡守へ相違十ノ玉ノ

一同日ニ遠藤備前守跡職ヲ相違十ノ嫡子

外記ニ玉ノ

一同七月九日ニ松平隼人正死去

一 同月十一日ニ遠藤備前守遺物トメ御刀  
保昌五郎代金ヲ指上ル  
十七枚五兩

一 同日ニ六卿伊賀守隱居之儀ニ付御刀前  
生代金十枚ヲ指上ル

一 同月十八日ニ縁組ヲ仰セ付ウル面々  
鳥井大納言孫女ヲ松平越前守へ西園寺

中將へ細川越中守娘酒井河内守娘ヲ柳  
原熊之助へ松平大隅守娘ヲ織田左門内

記子へ溝口信濃守娘ヲ酒井石見守へ松  
平丹後守養娘ヲ三浦壹岐守へ肥部右近

娘ヲ生駒主殿へ中根平十郎娘ヲ市尾彦  
右衛門へ稻葉清左衛門娘ヲ加藤權之次

へ伊達肥前守松平陸奥行倉小十郎是亦陸  
臣松平八之次是亦陸奥守信臣娘行倉三

臣松平八之次是亦陸奥守信臣娘行倉三

之次子ハナ即仰セ付ラル

一同月廿一日ニ松平兵部太輔願ノ通り隱

居家督之儀ハ相違ナク越前守伊賀京都

ハ御殿ニ付テ御料理且又御午スカラ御

茶ヲ玉ハテ終テ後四位侍從ニ任レ玉フ

一同月廿六日ニ太田模澤守ヲ宮中へ召テ

寺社奉行仰セ付ラル

一 八月五日亥ノ割ニ公方家ハ御臺所薨去

兼テ日蓮宗御飯依ナレハ御願ニ付テ天

台宗ニ改メ玉ヒ東叡山ニ於テ日光御門

跡御導師也

御臺様御辞世

イツイ口ヘイワカイワトテ花モナク

カヘルヤ悔ニ三十年八重カキ

ムサシノ、草葉ノカケニヤトカリテ  
都ノ空ニカヘルツキカト  
以上二首十リ今年三十八ニテラセラレ  
候ト也

一 同七日 御臺所御遺躰明後九日ニ東叡山  
へ御葬送則千九日ヨリ十一日ニテ御經  
讀誦十一日ヨリ十五日ニテ千部御經御

供養也

一 同八日ニ右ノ御薨礼ニ付テ井上相摸守  
へ御番仰セ付ラレ

一 同九日ニ御葬送ノ御道筋西ノ引橋ヨリ  
一ツ橋通り中根平十郎堀三左衛門舩越  
左門屋鋪ノ前津經越中守永井信濃守屋  
鋪前松平加賀守屋鋪ノ前堀丹波守石川

主殿頭屋鋪ノ前ヨリ東叡山ノ口モニハ  
入ラセテ護國院へ御遷座

一 同日酉尅御遺骸供奉ノ行列

御先挑燈 黒鋏ノ者一人同午替一人

御步行衆一組挑黒鋏ノ者一人同午替一人

御步行衆一組以上二組

挑燈 黒鋏者一人同午替一人

御步行頭二人 挑燈 同黒鋏者一人

小十人組一組 挑燈 同黒鋏者一人

小十人組一組 番頭一人

御傘 一奥下男 挑燈 一黒鋏者一人

御扱箱 二奥男二人 御長刀一奥下男一人振同下男頭一人

挑燈 一奥下男一人同午替一人 御廣鋪番頭

御輿 御廣鋪漆番十人 御香炉持 伊賀衆

右同断

右同断

御輿舁三十人八  
奥下男十リ

挑燈二奥下男二人ノ持

大久保右京亮  
御輿臺一ツ  
但黒鋏者二人  
午替氏

挑燈一黒鋏者

右御輿一挺御供衆物八挺

挑燈一黒鋏者

右八挺ノ衆物支配ノ伊賀衆六人  
衆物舁黒鋏者四十人

挑燈一黒鋏者

伊賀元十人

挑燈一黒鋏者

挑燈一黒鋏者

押ノ衆二人  
僕從

挑燈一黒鋏者

右ノ外ニ御先ハ稻葉美濃守御跡土屋但

馬守并ニ大目付ノ面々相越ス

御棺本堂ハ入叅リ候法事終テ龕前堂ハ



入御御導師日光御門跡龕前堂於日光  
供并御梗舟ノ法有テ御棺ヲ火屋ニ送リ  
奉リ又御戒名ハ

高嚴院殿ト号シ奉リ又

一 同十日ニ東巖山へ納メリシ御香奠

女院御所ヨリ銀五十枚甲府宰相公ヨリ  
銀三十枚館林相公ヨリ銀三十枚尾張黃

門ヨリ銀三十枚紀伊黃門ヨリ銀三十枚  
水戸相公ヨリ銀二十枚尾張中將ヨリ銀  
五枚水戸少將ヨリ銀五枚徳川常及ヨリ  
銀五枚千代姫君ヨリ銀廿枚松平越後守  
ヨリ銀十枚松平加賀守ヨリ銀三十枚松  
平左京大夫ヨリ銀三枚松平攝津守ヨリ  
銀三枚松平出雲守ヨリ銀三枚保科筑前

守ヨリ銀十枚松平刑部太捕ヨリ銀二枚  
松平播予守ヨリ銀二枚ヲ進上右ノ外諸  
大名ヨリハ先年御定之通りニ

一 同月十二日ノ夜風雨ニ予護國院破損依  
予御法事十三日ハ延引ノ十四日ヨリ始

一 同月十八日ニ御法事相濟ニ付予日光  
門跡へ上使土屋但馬守ヲ以予白銀五百

枚ヲ遣ハサレ其外僧中楽人ホヘモ御布  
施ヲ遣ハサレ

一 同月十八日ニ松平義作守卒去

一 同月廿三日ニ秋田信濃守純目ノ御礼ト

ノ御太刀目錄黄金廿枚綿百把同キ秋田  
安房守遺物トノ御刀備前長光代ヲ指上  
金二十枚

一 同日ニ松平越前守家督ノ御礼ト御太  
刀家黄金百枚綿五百把同キ松平兵部太  
浦御太刀目錄時服十隱居ノ御礼ト指  
上ル且又兵部太浦ヨリ右ノ儀ニ付テ御  
刀中川卿代仙知墨跡ヲ指上ル  
一金五千貫  
一 同月廿九日ニ大御番頭戸田相摸守跡役  
酒井下總守御書院番頭酒井下總守跡役

稻葉出羽守ニ仰七付テル

一 同日ニ水野監物死去

一 九月廿一日ニ増上寺ヨリ出火此時燒失  
ノ取々大方丈小方丈御襲束取飲ノ間玄  
関取付大庫裡小庫裡新茶屋黒書院居間  
并ニ常燒之間納取寮土藏十二間部屋七  
間寮湯屋亦也残ル取々八本堂三間表門

裡門御灵屋ノ分奥ノ土藏新藏五ツ湊番  
藏風呂屋米藏中間部屋取化察時僧察ホ  
也

- 一 同月廿六日ニ本院御所御移徒ニ付テ畠  
山下総守ヲ以テ進セラル品々本院御所  
へ黄金廿枚綿二百把三種ニ荷法皇御所  
へ綿百把三種ニ荷女院御所へ綿百把三

種三荷ヲ献上セラル

- 一 同月同日ニ本多能登入道道齋在取白川  
ニ於テ死去
- 一 同月廿七日ニ織田主水頓死
- 一 十月朔日ニ日歸院御門跡薨去
- 一 同月二日ニ青山丹後守死去
- 一 同月三日ニ鷹司太政取薨去

一 同月六日 = 阿部播下守病氣 = 付御後願

二 依下御免

一 同月八日 稻葉内記死去 稻葉義濃守伯父  
是先年細川越中

寺へ御預け取十リ

一 同月九日 = 秋月佐渡守嫡子 秋日出羽守

死去

一 同月十一日 = 高木伊勢守願 = 依下役

御免

一 同月廿三日 = 役替 / 面々御書院番頭青

山丹後守跡ヲ水野十兵衛常火消水野十

兵衛跡大久保四郎左衛門助井右京跡新

番頭松平与右衛門御書院組頭松平与右

衛門跡滝川若校守小十人番頭宅間伊織

跡秋田平太夫御鉄炮頭捲川喜左衛門跡

神谷与七郎御鉄炮頭菅沼藤十郎跡松平  
二郎三郎御弓頭三宅半四郎跡大久保喜  
六二俵セ付テル

一同月廿五日ニ永井伊賀守京都ヨリ衆上

ニ付テ禁裡ヨリ哀鳴ノ御懷紙并ニ新筆

ノ伊勢物語ノ御屏風ニ雙進セテル

一同日ニ松平義作守遺領高四万石ノ内三

万五千石嫡子岩松へ五千石二男千勝へ

願ニ依テ分テ玉フ

一同日ニ堀丹後守死去同日水野監物遺領

右衛門大夫ニ玉フ嶋津飛弾  
守遺領三万石又吉郎ニ玉フ

十一月三日ニ公方家隅田川辺へ御鷹狩

ニ出御翌四日ニ御奉ノ鳥ヲ禁裡女院へ

進セテテル

一 同月九日ニ本院御取ヨリ御移徒ノ御祝  
儀トメ堀川宰相ヲ以テ御太刀金馬代練  
絹五疋ヲ進セウル堀川宰相自今ノ御礼  
トメ御太刀銀馬代紗綾三卷ヲ献上依テ  
御殿ノ節銀百枚御小袖六ヲ堀川宰相へ  
玉ヲ

一 同月十五日ニ尾張中將殿當姫御方今日  
松平安藝守へ婚姻也

一 同日ニ繼目ノ御礼之衆中時服十金十枚  
水野右衛門太夫時服六金十枚松平岩松  
時服五金十枚鳴津又吉郎献上

一 同日ニ遺物ノ品々水野監物遺物トメ御  
刀高木貞宗代松平義作守遺物トメ御刀  
備前助吉代鳴津飛騨守遺物トメ御刀  
金十枚

代金十七枚  
五兩ヲ指上ル

一同月十六日ニ藤堂大學頭高次率去依テ

同姓和泉守へ銀三百枚ヲ玉フ

一同月廿七日ヨリ宝樹院殿御遠忌之御法

事始ル日光毘沙門兩門主其外僧中へ御

布施アリ定ニ略ス

一十二月七日ニ三谷頌城町ヨリ出火火本

ハ西ガシ湯屋市兵衛ト云者ニ類火ノ所

々ハ京町新丁住町江戸丁ニ丁目揚屋町

亦残ラズ焼失ス烈風ニテ外へ焼出類火

之処ニハ田町一丁程車善七構へ残ラズ

本卿佐渡守長屋内藤右近大夫長屋小出

伊勢守牧野播下守金森左京三輩ノ屋鋪

ハ残ラズ観音ノ寺中ニテハ不動院寿教



院智泉院西明院泉凌院竜善院泉藏院修  
禅院覺善院明音院寿徳院齊頌坊也山宿  
下西頬氏ニニ町程花川戸西カハニ町程  
聖天下横下一町程本庄中ノ々松平紀伊  
守屋鋪ニテ留ル傾城燒死者十三人逐寔  
ノ傾城十六人

一同月十一日ニ甲府相公御息虎松殿官位

御昇進有テ從三位左近衛中將經豊卜号  
ス依テ御太刀目錄銀二百枚時服十ニ中  
將殿ヨリ甲府宰相公ヨリ綿百把金馬代  
ヲ献上ニ將軍家ヨリモ中將殿へ御腰物  
一文字吉房ヲ玉フ  
代金五十枚  
一同月十五日ニ本多一學長門守初テ御礼  
卜ノ御太刀銀馬代時服ニツ献上

一 同日 松平周防守領地ノ内新田二十石  
ヲ舍 乃松平主水ニ命テ玉下是願ニ依テ

一 同月廿一日 堀丹後守遺領三万石異事

十リ 嫡子左京ニ玉下

一 同月廿三日 大膳大夫娘内藤下野守ノ松

平阿波守養女井伊玄蕃頭ノ松平播磨守

娘水谷大千代左京亮男脇坂中勢少補娘有馬

周防守ノ相馬出羽守妹佐竹壹岐守ノ安

藤對馬守娘小出右京守備前ノ本多兵部少

浦養妹細川玄蕃頭ノ松平糸女娘松平半

左衛門體躰ノ三枝榎津守娘新庄源右衛

門ノ牛込忠左衛門娘小出内記主殿ノ大

草主膳娘ヲ川勝十郎右衛門ノ大久保豊

前守娘伊沢吉兵衛へ織田主計頭娘市也

喪右衛門仰セ付ル

一 同月廿五日ニ繼目ノ御礼堀左京亮御太

刀目錄黄金十枚時服ニテテ献上同キ堀丹

後守遺物トメ御刀延壽國恭代テ指上ル

一 同日ニ三枝右近家督ノ御礼トメ御太刀

目錄金ニ枚テ献上

一 同日ニ本多長門守願ニ依テ役御免

一 同日ニ德川常陸公殿へ上使土屋但馬守

テ以テ從三位中將ニ任セラル

一 同月廿六日ニ官位昇進ノ面々松平福千

代四位下侍從近江守左兵衛督子松平大

學頭刑部少從四位下松平右近大夫播磨守

從四位下ニ任ス黒田宮内左衛門宮内少

浦水谷大千代亮左京出羽守 鍋嵩民部守加賀

紀伊守遠山五郎八守信濃和泉守毛利主膳

安房守高木勘解由守肥前堀田左京備

野下總守相良長三郎遠江壹岐守井上宮

内守筑後守水野十兵衛守長門守稻垣藏

人守備後守山田十右衛門守甲斐守石

治兵衛守丹波守太刀保刑部亮右京對馬守

松平半左衛門守甲斐守酒井主殿守下總伊

勢守右十六人諸大夫二任不

一 同日二 保田甚兵衛石川彦五郎秋田平大

夫秋元隼人宮城主殿大久保喜六松平三

郎二郎川田六郎左衛門神谷与七郎渡辺

弥文助天野傳四郎川合平大夫右ノ面々

布衣三 仰七付ノル

一 同日ニ縁組ヲ仰セ付ラル面々ハ京極甲斐守娘ヲ森伯耆守ハ板倉隱岐守娘ヲ酒井七郎ハ仰セ付タサル

一 同月廿六日ニ神田ヨリ出火火本八須田

一 丁二丁目名主市郎兵衛火本類火ノ御方

一 八須田丁連雀丁土井周彦守長屋通リ新

一 石丁神田鍋所同鍛冶所二丁通リ桑物丁

一 白銀丁三丁目四町目石丁三丁目四丁目

一 十軒店三丁小田原丁二丁駿河町須ノ物

一 町二丁安針町二町本船丁二町伊勢丁二

一 丁小綱丁一丁小舟丁三丁堀江丁四丁本

一 町三丁目四丁目白壁町二丁罷付塩町鉄

一 炮丁岩付町二町右ノ町々ハ附リ新道通

一 并横町會取屋鋪ノコラス焼失

一 同月同日ニ京都ニテイテ法皇御所ヨリ  
出火女院御所へ火ウツリテ兩御所ノ干  
ニ燒失

一 同月廿九日ニ織田左門子内ヲ記嫡諸大夫ニ  
仰セ付ラレ

玉露叢卷三十二終

玉露叢卷三十三

延宝五年

一 延宝五年正月廿五日女院御所遺創殿ト

一 十キニ依テ御見廻ノ為ニ酒井日向寺井

一 上玄徹ヲ遣ハサレハキ由仰セ出サレ

一 二月十八日ニ松平主膳正遺領残ラヌ猶

一 子九十郎主膳正才ニ玉ヲ

一 同月八日ニ藤堂大學頭遺物トメ虚堂墨

一 踐玉室筆ヲ指上ル

一 同月十三日 松平右衛門佐願ノ通りニ

男黒田宮内少浦ヲ惣領職ニ仰セ付ウル

是右衛門佐願ニ依テナリ

一 同月十五日 阿蘭陀人カビタン御目見

上例ニ如ク献上物有

一 同月廿六日 來ル 三月三ノ丸ニ於テ御金

吹候之間御金奉行毎日一人宛彼場取ヘ

罷出スヘキ由ト云云

一 同月廿八日 黒田宮内少浦取來四万石

別紙ニ下シ置レ候々惣領職ニ仰セ付

ウル上ハ領知指上ヘキ由右衛門佐申上

ルトイヘ氏右衛門佐高ノ内タル間迄ニ

下ナル

一 三月朔日ニ 女院御所御遣例ニ 依テ山本  
 友仙ヲ指上セラル  
 一 同月七日ニ 松平肥前守隠居嫡子内匠頭  
 本高五十五石玉ノ安藤彦四郎隠居嫡子  
 奎助ニ 本領四千石玉ノ何モ願ニ 依テ隠  
 居  
 一 同月十二日ヨリ十五日ニ 于奥羽南部地

震其上湖上ノ在家共數軒余破損

一 同月十五日 本多伯耆守死去  
 一 同月廿一日ニ 大番頭本多伯耆守跡役本  
 多淡路守仰セ付テ  
 一 同日ニ 池田豊前守遺領願ハ 通リ松平伊  
 豫守二男二郎三郎ニ 玉ノ  
 一 同月廿五日ニ 久保吉右衛門 御祐老裏ニ



依<sub>レ</sub>御役御免

一 同月廿七日 永井伊賀守卒去

一 四月十四日 役替<sub>ノ</sub>面々御書院番頭本

多淡路守跡役<sub>ヲ</sub>稻葉石見守御小性組番

頭稻葉石見守跡役<sub>ヲ</sub>石川市正百人組坂

部三十郎跡役<sub>ヲ</sub>蔣田權文女御持<sub>リ</sub>頭蔣

田權文女跡役<sub>ヲ</sub>北条新藏御持筒頭日向

半兵衛跡役<sub>ヲ</sub>落合源右衛門仰<sub>セ</sub>付<sub>ラ</sub>ル

一 同月廿一日 繼目<sub>ノ</sub>御礼<sub>ト</sub>池田數馬

猶<sub>豐</sub>前守金十枚<sub>拾六</sub>ヲ<sub>献</sub>上<sub>名</sub>却<sub>少</sub>代<sub>ト</sub>依<sub>テ</sub>同

苗信濃守御礼同<sub>キ</sub>池田豐前守遺物<sub>ト</sub>之

于御刀<sub>金</sub>備<sub>中</sub>直<sub>次</sub>代<sub>枚</sub>

一 同月廿四日 滝川長門守死去

一 同月廿五日 松平民部少輔願<sub>ニ</sub>依<sub>テ</sub>隱

居領知六千石相違十ノ実子備後守ニ玉

フ

一 同月ニ京極安智京都ニ於テ死去

一 五月十一日ニ松平民部少輔隱居ノ儀ニ

付御刀代吉國一文字指上ル

一 同月十五日ニ秋月佐渡守願ニ依テ二男

兵部ヲ惣領職仰セ付テラル

一 同日ニ山名主殿養子ニ大沢右近大夫ニ

男ヲ仰セ付テラル

一 同月十八日本多土佐守願之通役御免

一 同月十九日ニ永井伊賀守遺領三万石ヲ

相違十ノ嫡子大學ニ玉フ

一 同月廿一日ニ館林相公御簾中先頃平産

ニ付テ今日御祝儀ヲ遣ハサレ取謂時服

二十三種ニ荷館林相公へ巻物二十二種  
一荷同キ簾中へ白銀百枚ニ種一荷出生  
之姫君へ巻物十ヲニ種一荷桂昌院殿へ  
遣ハサレ

同日ニ京極頼母死去

同日北六日ニ永井大學継目之御礼トメ  
御太刀銀馬代黄金十枚時服六ヲ献上同

キ永井伊賀守遺トメ御刀 鈿三安十吉代御業  
茶壺山陰ヲ指上ル

同日ニ永井民部永井市正嫡子仰セ付テ

レ御礼トメ御太刀馬代時服ニツ献上

同日ニ山名宮内山名主殿養子ニ仰セ付

ウル御礼トメ御太刀馬代時服ニツ献上

六月四日ニ御小姓組番頭本多土佐守詔

一 役ニ池田帶刀仰セ付ウル

一 同月十九日ニ内藤采女常火消役ニ仰セ付ウル

一 同月ニ肥前国唐津呼小嶋小川嶋卜西嶋

辺へ長サ七尺余顔ハ猿ノコトク尾ハ鯰

ニ似テ身ニ毛生テ鼠色ナル生類右之嶋

へ海中ヨリ上

一 同月廿三日ニ大坂御城番安部丹波守連

々願ニ依テ役俊御免ノ奉書ヲ遣ハサレ

一 同月廿七日ニ土井信濃守遺領一萬石ノ

内五萬石土井能登守ニ男土井左門ニ玉

ノ

一 七月四日ニ阿部播守願ノ通隱居依テ

領知九萬石ノ内八萬石嫡子阿部義作守

五千石二男阿部七三郎三千石三男阿部  
長吉二千石四男阿部鶴之次令于玉フ  
是亦願ニ依テ也

一同月八日ニ保科越前守ヲ管中ヘ召テ大  
坂御城番安部丹波守跡役ニ仰セ付ラ  
尤御加増五千石都合二万石十リ且亦越  
前守彈正忠ニ改ム

一同月十一日今上皇帝御母公新中納言殿  
去ル三日薨逝ニ依テ御使トシテ京都ヘ  
大沢右京大夫ヲ遣ハサレハキ申今日仰  
セ出サレ

一同月十二日ニ跡目仰セ付ラる面々本多  
伯耆守遺領八十石ノ内七十石嫡子本多  
豊前守千石本多三左衛門青木求馬本領

五十石嫡子青木右衛門滝川長門守本領  
三千石嫡子滝川若狹守新庄長門守本領  
三千石新庄大學菅沼藤十郎本領二千石  
嫡子菅沼七之次相違十ク玉

一同月十七日ニ女院御所御遠例御状然ニ  
付テ御褒美トシテ井上去織ヲ法印山本  
友仙法眼ニ仰セ付ラレ

一同月十八日ニ家督之御礼トシテ阿部義作  
守御太刀目錄黄金二枚阿部鶴之次御太  
刀目錄黄金一枚ヲ献上

一同日初テ御礼松平己之次對馬守御太刀  
銀馬代時服三土屋主計相摸守御太刀銀  
馬代時服三ヲ献上  
一同日ニ繼目ノ御礼トシテ滝川若狹守御太

刀目録金三枚新在大學御太刀馬代金二枚土井丸門御太刀馬代金三枚青木右衛門御太刀馬代金三枚ヲ献上

同日ニ分知ノ御礼トメ本多三左衛門御太刀目録金一枚ヲ献上

同日ニ遺物トメ土井信濃守御刀備前元貞代金十枚滝川長門守御刀備前經弘本多伯耆守

御屏風一双雪村ヲ指上ル

同日ニ隱居ノ御礼トメ阿部播守守ヨリ

御刀相及行光代御搦物山水周文筆ヲ献

上

一同月十八日ニ山備院御門跡薨去

一同月廿一日ニ縁組仰セ付テル面々ハ酒

井雅乐頭娘ヲ松平九十郎ハ松平丹後守

娘ヲ伊東出雲守へ松平伊与守娘ヲ本多  
平八郎へ織田山城守娘ヲ土方奎女守備子中  
へ立花飛騨守娘ヲ相良壹岐守へ内田出  
羽守娘ヲ毛利安房守へ小笠原土佐守娘  
ヲ秋山吉兵衛門右男牛込忠公衛門娘ヲ  
仙石吉十郎治左男へ仰セ付ラル此外ニ  
モ縁組仰セ付ラルトイへ尺書ク

一同月廿五日ニ大久保出羽守老中列ニ仰

セ付ラル且亦出羽守ヲ加賀守ニ改ム

一同月廿七日ニ新庄隱岐守大坂御城中ニ

於テヒヤリシ

一同月中旬ヨリ江府所中踊ヲ始メ羨簾ヲ

盡ス十月十七日ニ踊御法度ノ御觸アリ

一同月廿八日ニ本多下野守舎才万文女ヲ



猶子ニ仰セ付ウル是願ニ依テナリ

一 同日ニ京極備中守ヲ營中へ召メ同性頼母領知三千石八分知ニメ備中守本高丈内十レハ則返之下サレ由仰セ出サレ

一 八月二日ニ高嚴院殿御一周<sup>忌</sup>ニ付テ上

野ニ於テ今朝ヨリ十部之御經ヲ御執行

一 同日高嚴院殿御贈位勅許有テ從一位ヲ

贈リ玉フ依テ久世大和守ヲ以テ位記口

宣テ日光御門跡へ遣ハサレ

一 同月五日ニ御法事相濟ニ付テ上使稻葉

美濃守ヲ以テ日光御門跡へ白銀五百枚具

外僧中乐人等ニ御布施ヲ玉フ

一 同月六日ニ智恩院御門跡へ御合刀采卜

ノ三百俵ヲ遣ハサレ

一 同月八日：山名主殿猶子宮内死去

一 同月十日 榊原越中守願ノ通リ松平和泉

守五男半弥ヲ猶子ニ仰セ付ラレ

一 同月十四日 毛利刑部少輔嫡子伊豆守頃

日死去

一 同月廿二日：松平越後守室卒去 是松平大膳太

姉依ノ上使板倉石見守ヲ以テ御香奠白

銀二百枚ヲ遣ハサレ

一 同月廿三日：衆山終理亮願ノ通リ隱居

本高一万三千石余ノ内一万千石嫡子三

之助千二百石二男義之助千石 内二百石新桑一地

三男若松ニ命ケ玉フ是亦願ニ依テナリ

一 同月廿五日：高巖院殿御贈位ノ御礼ト

メ京都へ織田主計頭ヲ遣ハサレニ依テ

禁裡へ白銀五百枚法皇御所へ白銀三百  
枚本院御所へ白銀二新院御所へ銀二百  
枚女院御所へ白銀二百枚女御之御方工  
白銀百枚ヲ遣ハサレ

一同月廿八日ニ采山終理亮隱居ノ爰ニ付  
于青碰中無ノ御花入ヲ指上ル

一九日六日山口終理ノ亮頃日死去

一同月八日ニ勢嘉山田出火内宮町屋二百  
八十軒余焼失ス御宮ハ異事ナシ

一同月九日ニ有馬中務大浦嫡子源四郎死  
去

一同月廿九日牧野佐渡守卒去

一同月廿五日大田原山城守願之通リ隱居  
領知一万二千石余猶子大田原備前守へ

玉ノ

一 同日戸田相摸守願文通隱居高四千石ノ

内三千五百石嫡子石見守五百石二男戸

田惣左衛門ニ玉ノ

一 同月六日ニ大坂町奉行彦坂壹岐守跡役

ヲ崑田藤十郎ニ仰セ付テ千石ノ御加

増有テ都合千六百石ナリ

一 同月廿九日ニ新庄隱岐守遺領一萬石相

遠テ少嫡子主殿ニ玉ノ

一 十月三日九筋筋雨疾風ニ付秋月佐渡守

領内經福崑ト云処知行高一万石ホト損

凶下リ所謂

一 稻九千三百廿駄流失

一 川漬千五百俵流失

一 田地百五拾五町三及余破入

一 井千ノ川除塘土塩漬ノ所々残ラズ破損

アリ

一 倒家二十八軒内十四軒流失大男一人溺

死

一 馬百二十五疋流死ス内一疋ハ牛

一 高船三艘破損

以上秋月佐渡守領内ノ令ナリ

一 松平大隅守領内ニテ高船一艘破損水主

二人溺死ス

一 右同領ニテ俄ニ池ニツ出来ス右ノ池ノ

ヒロサ一ツハ六千坪又一ツハ六百坪猶

亦一ツハ七百坪アリ深サ四尋五尋又八

十尋計リ此外取々ニ小池トモ幾取ニモ

出來入

一 方々ニテ山ニ町三町ホトツ、崩ル

一 蕎麦、粟、大豆、穀、大分流失ス

一 以上松平大隅守領令十リ

一 伊東出雲守領内ニテ具損七取々

一 稻六百四十把流失

一 川漬二百七十五俵流失

一 井関百三十九ヶ取破損ス

一 但ニ埋插算数多流失

一 堤十ヶ所破損ス同板ニメ九百十八間

一 倒家四十六軒

一 男女三人溺死馬一疋流死

一 捕板八十枚流失

一 舟大小四艘破損

右之外破入ノ田地数ヶ所ト云云

以上伊東出雲守領内

一 同月九日水戸領ノ浦々津波上ヶ損七

ノ所々

一 潰家八十九軒

一 溺死三十六人男三十四人女二人ナリ

一 破損流船凡三大小三百五十三船

一 楢三百六十五挺流失

一 梶二十三挺流失

一 帆柱二十一本流失

一 難鯛綱繩五十一帖流失

一 塩籾千石七百八十四俵流失

一 塩物ヲ漬大桶二百二十流失

一 塩八百五十六俵流失

一 穀物千四俵流失

一 稻四百三拾二駄流失

以上水戸殿御領十リ

一 同日三上総国高沙ノ所々

一 阿部伊豫守領内小濱浦ト云処ニテ倒家

二十五軒男女九人溺死

一 和泉浦ト云処ニテ倒家ノ救知レシ人田畑

救ケ取擲救知レシ男女十三人溺死

一 岩舟浦ト云取ニテ倒家四十軒男女五十

七人溺死ス

一 東浦見村ト云処ニテ倒家五十軒男女九

十七人溺死

一 尾佐志戸村ト云処ニテ倒家廿五軒男女

十三人溺死



以上阿部伊与守領内ノ令ナリ

一 阿部播广守領知御萌浦ト云処ニテ倒家

三十軒男女三十六人溺死

一 植村土佐守領知郡石小村ト云処ニテ倒

家六軒子尼二人溺死

一 新宮村ト云処ニテ倒家十七軒二人溺死

一 沢倉村ト云処ニテ倒家十一軒二人溺死

以上植村土佐守領内令ナリ

一 板倉与五右衛門領知川津村ト云取ニテ

倒家十九軒三人溺死

右ノ通ニテ其後毎日地震昼夜ナケテ十

七八二十度ニ及ヒテユリケリ

一 同月同日ニ奥品岩沼領へ津波上ル

一 民家四百九十軒余流家

一人馬百五十人溺死内馬廿七足十リ

以上田村右京大夫領知十リ

一同日：房列モ然リ民屋人馬ノ負救ハ知

ウス

一同日尾列御領紀伊御領右同断

一同月十一日：女院ノ御所新院御殿出來

ニ付テ今日御移徙

一同月十二日：家督ノ御礼トノ六日原備

前守御太刀目錄金五枚時服三献上同キ

御礼トノ新庄主殿御太刀目錄金五枚時

服三ヲ献上

一同日：大田原山城寺隱居ノ儀ニ付テ御

刀三原代新庄隱岐寺遺物トノ御刀兼重

十枚

一 同月十八日：松平新五左衛門小出救馬

罷野平兵衛三人御步行頭ニ仰セ付ラル

一 同月十九日：松平越後守室遺物トメ雪

舟筆之御屏風一双ヲ進上

一 同月廿四日：相良壹岐守遠子江守死去

一 十一月二日：松平肥前守死去

一 同月三日：松平備中守ハ御令ヲ奉トメ

一 万俵ヲ玉フ

一 同月七日：右文御礼トメ松平備中守ヨ

リ金馬代時服五ヲ献上

一 同月六日七日兩日：御側御小姓元御小

納戸元ハ御腰物ヲ下サル所詔

屍楯則長 代金八枚 大森信濃守

吉罷一文字 代金八枚 酒井壹岐守

來國光

代金八枚

内藤上野守

青江貞次

代金八枚

土岐伊豫守

備前正恒

代金八枚

米津周防守

古弘安

代金七枚

神尾飛騨守

國吉

代金七枚

能勢摂津守

備前定貞

代金七枚

稻葉市正

備前近景

代金七枚

堀山滋守

青江貞次

代金七枚

朽木和泉守

延壽國吉

代金七枚

小笠原佐渡守

來國後

代金七枚

渡辺安藝守

備前兼光

代金七枚

小出下野守

長義

代金七枚

滝川相摸守

光重

代金七枚

山田甲斐守

青江貞次

代金七枚

遠山半左衛門

則重

代金五枚

坂本小左衛門

助貞

代金五枚

永井彦兵衛

來國後

代金五枚

本多金左衛門

青江貞次

代金五枚

松平傳九衛門

備前助貞

代金五枚

大久保兵九郎

備前恒弘

代金五枚

大久保一郎右衛門

延封國恭

代金五枚

牧七左衛門

備前忠光

代金五枚

山崎伊兵衛

青江吉次

代金五枚

甲斐庄三郎右衛門

備前長光

代金五枚

遠山權左衛門

元文字

代金五枚

須田市兵衛

備前景光

代金五枚

河合平太夫

元重

代金五枚

天野傳四郎

新藤五國光

代金五枚

小栗十郎右衛門

信国 代金五枚 枚浦平右衛門

以上

一 同月九日ニ山口 終理ノ亮遺領相遠ナリ

嫡子長二郎ニ玉ヲ

一 同月十二日ニ九条左府薨逝

一 同月十五日ニ山口長二郎絶目之御礼ト

ノ金五枚小袖三ヲ献上同キ山口 終理亮

遺物トノ御刀 備前公宗代 七枚五兩ヲ指上ル

一 同月十七日ニ松平帯刀死去

一 同月廿七日ニ加藤伊織死去

一 十二月四日ニ甲府中將殿御袖ヲトシ玉

ヲ依テ上使大久保加賀守ヲ以テ中將殿

ハ御小袖十三種ニ荷相公ハ二種一荷ヲ

遣ハサレ

一 同月十二日ニ初テノ御礼トメ溝口隼人  
亮 終理 御太刀銀馬代ヲ献上

一 同日ニ戸田相模隠居ノ御礼トメ御腰指  
石 真 繩 ヲ指上ル

一 同月十三日ニ大久保如賀守領内唐津ヨ  
リ兩頭ノ活龜ヲ指上ル

一 同月十四日ニ山内右近太夫遺領三万石  
願ノ通り亦大膳へ下サレ

一 同日ニ五嶋淡路守願ノ通隠居領知一万  
五千石余嫡子主税ニ玉フ

一 同月廿一日移徒御祝儀トメ法皇御所ヨ  
リ東久世三位ヲ以テ御太刀目錄黄金馬  
代白絹十足女院御所ヨリ梅園右兵衛ヲ  
以テ御小袖三重三種ニ荷テ遣セラル

一 因十二月朔日ニ山内大膳繼目ノ御礼ト  
ノ目錄黄金十枚綿百把同キ山内右近太  
夫遺物トノ御刀備前关元代ヲ指上ル

一 同日ニ家督ノ御礼トノ五崙主稅御太刀  
目錄黄金五枚時服三ヲ献上同キ五嶋淡  
路守隱居ノ差ニ付テ御茶壺神東ヲ指上  
ル

一 同月五日ニ禁中へ御書物ヲ遣セラル所  
謂府元龜二百五冊神海八十正白川学海二

十四冊續百川学海二十四冊三才番繪五  
十冊ヲ遣セラル

一 同月廿一日ニ黒田宮内少輔へ經ノ御字  
ヲ玉ヒ經政ト号ス從四位下ニ叙ニ肥前  
守ニ任ス且又松平ノ称号ヲ玉ノ依テ御



目見御盃頂戴ノ上ニ御腰物代備前長光

ヲ玉ノ松平肥前守右之御礼トノ御太刀

備前兼光銀三百枚綿二百把ヲ献上

同日ニ継目ノ御礼トノ松平万之女帶刀

御太刀

一同月廿六日ニ官位昇進ノ面々

松平隱岐守大久保加賀守從四位下ニ任

入柙原熊之女ヲ式部少輔本多万之女ヲ

下野守能登守子中川主膳ヲ佐渡守因幡

守猶子本多佐左衛門ヲ飛騨守山田大膳

ヲ則子大膳ノ亮永井大學ヲ伊賀守永井

民部市正日向守秋月兵部ヲ山城守兼山

三之女ヲ義作守山口長次郎ヲ修理亮嶋

田藤十郎ヲ越中守鳥井宮内ヲ長門守五

鳴主税ヲ飛驒守ニ任ス尤十三輩從五位  
下ニ叙ス内藤宋女園野平兵衛松平内藏  
女松平新左衛門小出教馬以上五人布衣  
ニ仰セ付ラル園本寿仙真瀬養安院西醫  
法眼ニ仰セ付ラル

一 同日ニ大御番頭土屋兵部少輔願ノ通役  
御免

一 同月廿七日ニ水谷左京亮ニ新田二千石  
ヲ玉フ都合五万石ニ十廿レ下廿ル

一 同日ニ渡辺大隅守千俵御加増ヲ玉フ

一 同日滝川相模守五百俵御加増ヲ玉フ

一 同月去ル十六日加藤出羽入道月憲死去

玉露叢卷之十四

延宝六年正月二日江府ノ御城ノ失

倉ノ上ノ人ニヤ午ホニソレ鷹大緒ヲ

引カケテ口外則チスヘケテ御前ニ

出ルト云々

一月十日ニ大御番以土屋兵丁以補

跡後ヲ水野周防守御旗奉行大久保

四節大講門跡後ノ安履九節大講門  
脚鉄炮頭安履九節大講門跡後ノ宮  
部徹ノ二仰セ付ル

一 同月同日ニ西谷ニ町目ヨリ火家  
敷七軒焼失ノ其外焼失ノ所々

一 愛善院寺中并門前五六軒

伊賀組子願永井九之次郎造以落  
合源右衛門組残クノ焼失ノ家敷二

十軒余

一 紀伊中將殿家素戸田市帛右講門屋

鋪焼失

一 脚鑪奉初ノ子以太田源右衛門其外

家敷十軒余焼失

一 赤坂脚掃除所残クノ組以板倉跡作

燒失

一 坂平安藝守新屋鋪ノ是屋六七軒燒

ニ

一 松平与右衛門屋鋪燒失

一 甲府殿家来中嶋二丸清門屋鋪燒ニ

一 松平三河守屋ニキ燒失表是屋ハ殘

ル

一 山内大膳亮屋鋪右同斷

一 内後左京亮屋鋪右同斷

一 六本木町並燒ニ

一 大久保加賀守屋鋪燒ニ

一 有馬太清門佐右同斷

一 日賀窪片町二丁程殘リ其余ハ燒失

又

一 素山丹後守下屋鋪ヲ切テコ、ニテ

燒苗ル

一 戸田孫七郎屋ニテ燒失

一 戸川縫殿卿下屋ニテ燒失

一 戸田孫十郎屋ニテ同断

一 尾坂ニテ大久保加賀守隠居屋ニキ

燒ル

一 大田原備前守屋ニキ下ヨリ尾屋塀

端ニテ町並燒ル

一 甲府殿三田ノ屋ニキ火ニ燒テ爰ニ

テ燒苗ル

一 同月十二日ニ二条関白殿若君石君

殿之服ニ付テ御一字ヲ遣ハサレ

云綱平ト依テ石君へ御太刀國行代金

十五收銀百枚  
白光平公へ御小袖  
三種二荷女御宮へ  
黄金拾枚三種二  
荷ヲツカハ井凡大沢  
右京太夫持叅

十月

同日二井上去  
做金百兩山本友仙  
黄金十枚ヲ玉ノ女院  
御所御遠例ニ付

同月十四日二松平上野  
女在所雲明

二於テ火屋鋪并侍屋  
鋪過半燒失

同月廿三日二大久保  
加賀寺元高ニ

テ下總佐倉へ所替ニ

一河耳ニ松平和泉守  
一万石ノ所加増

ニテ肥前唐津へ所替ニ

一河月廿五日二大久保  
加賀寺金三万

西拜借之

同月廿八日 水谷大京亮旧臘新田

ヲ本高ニ結ヒ下サレ御礼トシ御太

刀金馬代御小袖ニツテ献上

二月廿四日 丑嶋淡路寺死去

同月廿七日 尾張中將殿ヨリ御産

トメ唐木ノ服息ヲ指上ラレ

同月廿八日 所替花ニ御増ノ御

礼トメ松平和泉守ヨリ御太口目錄

御小袖五金十枚ヲ献上

同月廿九日 仁和寺御門跡逝去

同之月四日 水戸殿御産トメ御屏風

一 乃孔廟ノ圖曆五位鷺献上

同月十日 朽木除丑友浦門死



一 同月十三日 = 綾小路侍從柳原侍從

西葦へ方領百石ツ、ツ玉了

一 同月十五日 = 防蘭陀人カヒタニ進

物ツ捧テ御礼アリ

一 同月十七日 = 永井弥右衛門入道道

休灰忝

同月廿二日 = 松平山城守ヲ寺社奉

一 同月廿六日 = 田村隱岐守宗良死去

同月晦日 = 小笠原山城守遺領四万

石相違ナク楠子能登守 = 玉了

一 四月二日 = 遠州二股青竜寺へ銀百

收ヲ玉了是當九月十五日騰雲院殿

三島信康百年忌 = 依テ御法夏料十

川

同月 = 遠別西来院 一寺領二十石御

增附都合三十石之是八三帛信康公

ノ御母堂筑山御菩提所人

同月三日 = 安部丹波守願ノ通隱居

本領二方石余嫡子堪津守 = 王ノ且

又新田十石ノ二男从九郎 = 分ケノ玉  
ノ是願ニ依テ之

同日 = 御書院普次町野臺成守願ノ

通役目御免

同月四日 = 松平右近太夫播摩守嫡子

死本

同月九日 = 二百石實相院御門跡百

石河照寺殿百石光雲寺是ハ明莊殿  
院殿也ニ官

十一 御奉二百俵昆沙門堂門跡以御子  
子新院宮二百石醍醐へ御新加之是  
本奉日光明跡御下向一割廿院御所  
御願 依了也

一 同月十一日二小笠原山城守遺物ト

又御口 香江貞次代金十五枚

同月二 房部丹波守隱居一俵二付子  
御小照差信國代金十二枚ヲ指上ル

一 同月廿戌申二二条右君子リ元版ノ

御祝儀ト又隱岐修理ヲ召之テ真御

太刀 備前良守二条前攝政ヨリ二種  
代金二枚

一 若女后宮ヨリ白銀十枚御看一種

ヲ進セヨル

一 同月廿九日女院御所へ中川勘三郎

一 以テ賜ノ御香爐一香ノ御卓一香

磁ノ御切夕ノ一阿蘭陀御土圭一握

々能一及ヲ進セラレ

一 同月晦日ニ戸田右京大夫揃子教馬

死忝

一 丑月十二日ニ世院御所御吳例ニ付

テ年賀金銀ヲツカハサレ

一 同月十五日ニ醍醐少將ヨリ清花ノ列

ニ仰セ付ラル御礼トノ一条殿ヨリ

難波内藏權以ヲ以テ二種一荷進ト

人且又醍醐少將ヨリ堀川右進ヲ御

太刀銀馬代香袋一箱進トナリ

一 同日ニ實相院御門跡使者依野終理

所太刀馬代儒珍三卷可照寺殿使者

武后伊兵衛香袋一箱ヲ進上是先頃  
御新加ノ御礼ニ

同日ニ昆沙明堂使僧今小路式アツ

以テ香袋一箱是先頃御子子宮へ贈

料玉ハル御礼ニ

同日廿三日ニ本院御所御遠例ニ依

依テ縮兼表濃守ヲ京都へ遺ハサレ

且又御前ニ於テ御掛硯ニテ祿領此

ノ内ノ物ヲニテ入御年自御召ノ御

羽織シ下サレ

一 法皇御所へ伽羅二本卷物ニ十御屏

風一古法眼ヲテ琴碁書ノ昼

一 本院御所へ色糸百斤八丈鳴織五反

一 女院所所八金一分万切伽羅二本所

屏風二雙一雙八月楊二稻粟田口筆柳二

土佐筆一雙八吉野菴田持野養朴筆

八犬鳴徹二百及右ノ通川催上人

一 同月廿三日ニ甲府大霰降ル

一 同月廿七日ニ去岐山城守二男甲与ノ

守ノ惣領殿ニ仰見付テ九是獨子左  
京亮病氣故願ニ依テ十川

一 同月廿八日ニ田村隱岐守遺領三万

石相違十ノ獨子右京大夫ニ玉ノ

一 六月一日ニ柳小姓組番以土岐伊与

宇堵後ニ朽木和泉守ニ仰也付テ九

一 同月九日ニ田村右京大夫継目ノ柳

礼卜又而太刀銀馬代黄金十枚時服

五ノ献上同隠岐守遺物ト又御刀高  
貞宗代金ヲ指上ル

同日ニ土岐伊与守惣領殿ノ御礼ト  
又御太刀馬代時服三ツヲ献上

同月十一日ニ京都ニ於テ稻葉義濃  
守宅へ香山因幡守ヲ招テ連々願ノ

通大坂卯城代御免ノ旨ヲ謂達ス是  
稻葉義濃守上京ノ次テ以テ仰遺ハ

同月十五日未刻ニ女院御所蒙御脚  
込名東福門院皇太后宮源和子ト申

ニ奉ル

御辞在ニ  
ム甘シノ、夕廿葉ノスヘニ宿借テ

都ノ空ニカヘルツキカク

右御葬礼ハ泉涌寺御法喜ハ般舟院

ニテ御執行之

同月同日ニ雲州松平出羽守城下出

火侍屋鋪所屋瓦二百軒余焼失

同月十九日ニ太田撰津寺ヲ大坂御

城代ニ仰付ラルル依テ御加増二万石

都合五万五千石

同月廿五日ニ松平但馬守直富率太

同月廿七日ニ河滿院新門謎目ノ御

礼トメ使者ヲ以テ紗綾云巻御太刀

目錄ヲ進上

同日ニ東川跡へ舍弟猶子ニ仰付ラ

ル御礼トメ使者ヲ以テ二種一荷ヲ



進上之

一 同月廿八日東福門院来月三日ヨリ

御汰事始ニ依テ五方石以上ヨリ京

都へ御香奠遣スへ申由人

一 七月七日ニ木下内通死否

一 同月十日ニ松平宋女正願ノ通隱居

家督相遠ナク嫡子羊三郎ニ仰付ク

凡

一 同月十一日ニ太田榎津守卿加増人

御礼ナク御太刀目錄金廿枚時服十

一 一献上ノ旨ニ依テ御禮金廿枚時服十

一 同月廿三日ニ本多土佐守死去

一 同月晦日ニ太田

一 同月同日 = 松平阿波守調通阿州 =  
於卒去

一 八月五日 = 高岩院殿三回御忌之御

一 汰事今日結願 = 付于御名代卜又上

一 野入大久保加賀守系詣止又御布施

一 卜日光御門跡へ白銀五百枚其外  
僧中へ銀二十枚十枚五枚

一 河井同日 = 筑後柳川鎮永換取詔

一 高四方二十石余潮入

一 堤一方五百六十九間崩

一 倒家二千七百廿九軒

一 内二十六間八侍屋鋪

一 八軒八寺社

四十軒八豆怪以下

二千六百四十九軒町人百姓

流死男女共百七人

馬十七疋

同日肥後熊本水損取謂

田畑惣高七万六千五百七十石余

塘六万八千八百九十九町行程二ノ

井樋二

船大小二百三十二艘

潰家一万二千三十九軒

溺死三人

流馬三疋

同日豊前小倉水損所謂

汝入田畑百十四丁八反

海辺ノ士年一万百十四間

潰家二千八百四十二軒

城廻堀破損

以上

同日八日銀組仰付ラニ面々取謂織

田山城守娘ヲ松平彈正忠備前ノ本

多下野守妹ヲ松平右京亮主殿ノ松

平九十郎娘ヲ永井伊賀守ノ永井信

濃守養女ヲ森對馬守ノ田村右京太

夫妹ヲ永井日向守市正ノ南部信濃

守娘ヲ香山石ノ大藏少輔ノ松平

佐渡守娘ヲ植村大膳志六守ノ永井

佐渡守娘ヲ阿部七五郎播磨守ノ八一

柳権ノ众娘ヲ土屋備前守兵戸少輔

池田敷馬伯母ヲ竹中主殿左京へ松

平久馬女娘ヲ水野肥前守周坊守へ

井上太左衛門娘ヲ甚谷川大膳長三郎へ

阿戸四郎五郎娘ヲ竹中久五郎藍物へ

子へ世野孫九郎娘ヲ高林与七郎へ

兼山猪兵衛娘ヲ石尾織戸七兵衛へ遠

山半左衛門娘ヲ松波梶平へ大世五

郎右衛門娘ヲ小寺縫殿へ牧野遠江

守娘ヲ水野縫殿對馬守へ仰せ付ケル

一 同月十日ニ松平阿波守江府ノ屋鋪

へ上使松倉石見守ヲ以テ御香奠白

銀三百枚ヲ下サレ

一 同月十三日ニ菊亭大納言殿息女ヲ

水戸少将殿へ縁組ヲ仰せサレ是

水戸宰相殿願ニ依テ

一 同月十六日ニ土岐山城守願人通隱

居家督人儀ハ相違ナク土岐伊与守

ニ玉

一 同日ニ仰勘定頭置テ角左衛門卿先

半渡辺吉左衛門願人通リ役御免

一 同月十七日ニ江府甚地震

同月十八日ニ青山因幡守領知ノ莫

遠州濱松へ所替ヲ仰付ラル

一 同月去ル四月五日兩月片ニ京大坂

地震甚西ニ舟ヲ加茂川淀川宇治川

挂川大和川其外取々ノ川々増水ノ

由

一 同月廿一日ニ松平若守へ但馬守僮

領五万石ヲ相遠十ク玉ノ

一 同月廿八日ニ松平若狭守鑑目ノ御

礼トメ金廿枚綿百把ヲ献ト同キ松

平但馬遺物トメ御刀備前代金二十

枚ヲ指上ル

一 同月ニ土岐伊与守家督ノ御礼トメ

金十枚時服五ヲ献上同キ土岐山城

隱居ノ御礼トメ金馬代ヲ進上是又

山城寺御刀城川兼永代ヲ指上ル

一 同日ニ毛利元九守日男初ケ御礼トメ

金馬代時服三ヲ献上

一 同日ニ中田相摸守死云

一 九月一日ニ尾張中將殿而息五郎八

殿卒去

— 同月二日 = 竹中丸京卒去

— 同月九日ヨリ十日ニテ水戸領雨降

— 依テ田畑亦損亡多シ

— 同月十日ニ照坂中勢必陣場子市

— 正病者ニ付テ二男主殿ヲ惣領職ニ

— 仰セ付ク凡是願ニ依テ

— 同月十四日ニ甲府殿逝去揚生院殿

卜号傳通院ニテ葬

— 同月十六日ニ松平左兵衛督信平室

— 卒去是ハ紀伊頼宣ノ御息女ニ

— 同月十八日ニ泉涌寺へ四百石般舟

— 院へ百石御新加人

— 同月廿日ニ甲府中將殿へ上使去屋

— 但馬守ヲ以テ御香奠白銀千枚ヲ遣



八廿九

河月廿三日 = 清泰院殿廿二回忌

甘テ傳通院ニテ御法事アリ依テ御

名代トメ稻葉義濃守ヲ以テ御香奠

白銀二百枚ヲ遺ハサル

十月二日 = 東福門院ノ御遺物トシ

テ御糸鑑御掛物大猷院殿御卓御屏

風一羽双雅乐十種香具ヲ遺セラル

河月六日 = 日光明跡京都飯ノ御財

産トシテ尊田親王ノ消息ノ御物勅

方御薰物五種繻珍五卷ヲ進上之

河月七日松平阿波守遺領廿五万石

余猶子蜂頭賀熊太郎ニ玉ヲ

河月廿三日松平新太郎改室辛未是ハ

天樹院殿御息女

一 同月十五日 蜂須賀熊太郎繼目ノ

御礼トメ真太刀真守代金五枚黄金五十枚

綿二百把ヲ献上同平阿波守遺

物トメ御昭指真守代金七十五枚御葉茶壺枯木

一 指上ル

一 河月廿五日 甲府總重御家督ヲ

中將殿一御付ラル、由酒井雅楽以

稻葉義濃守ヲ以テ仰セ遺ハサレ

一 十一月朔日 甲府中將殿繼目ノ御

礼トメ御太刀兼手代金七枚白銀五百枚時

服井ヲ進上

一 同日 甲府宰相殿御遺物トメ御刀備

守家代金五十枚 京極茄子ノ御茶入内赤ノ

盆布茶壺鷓ヲ指トケル

一 同日ニ順性院殿甲府相公ノヨリ縮御母堂

緬十卷ニ種一荷ヲ進上是甲府中將

今日御礼仰セ付ケルニ付テナリ河

日ニ保科十四郎筑前守初テノ御礼

上ノ御小袖四金馬代ヲ献上

一 同日六日ニ新御春組天野清兵衛

跡股ヲ内蔵十郎兵衛石河仁右衛門

跡股ヲ朝比奈新太命ニ仰セ付ケル

一 同月十五日ニ能勢日向守庵州鳴海

ニ於テ死去

一 同月廿五日ニ松平龜之次播磨守初テ

ノ御礼トメ御太刀馬代御小袖四ヲ

献上

一 河月廿八日 = 松平新太帛室ノ遺物

トメ為元ノ哥書ヲ指シル

一 十二月三日 = 仙石治大湯門ヲ盜賊

改メ奉行ニ仰セ付ケル

一 河月六日 = 跡目相續ノ面々大沢兵

部大膳男右京大夫本多土佐守男右

湯門向人ニ男本多隼人是ハ熊野日

向守男治大湯門竹中左京男主殿ホ

ニ仰セ付ケル外數輩アリト云ヒ首

ク

一 河月八日 = 大久保和泉寺日別ニ於

テ死ス

一 河月十三日 = 昨日水戸城將殿督廻

相調ニ付テ大久保加賀守ヲ以テ御

祝儀ヲ遺ハ廿几取謂水戸宰相殿へ  
三種之荷同ハ將殿へ白銀百枚御小  
袖廿河十ハ將殿簾中へ金十枚綿二  
百把ヲ遺ハ廿几

一 同日ニ昭披王殿惣領職ニ仰セ付ラ  
ル御札トシ銀鳥代時服三ヲ献上

一 同日十九日ニ緑組ヲ仰付ラ几面々

毛利甲斐寺娘ヲ森百右衛門へ南郷

信濃寺娘ヲ南郷遠江寺へ本多飛彈

寺娘ヲ五嶋飛彈寺へ松平内匠氏娘

ヲ安反頼母次古門男衆取へ仰セ付ラ几外

ニ數輩有トイハ片爰ニ皆ク

一 同日廿一日ニ甲府中將殿大服ニ付  
テ上使土屋但馬守ヲ以テ白銀二百

收時服廿ヲ遺ハサル甲府殿御礼ト  
メ真御太刀ニ了戒代金綿二百把ヲ献  
上御目見ノ上ニテ御腰物相列行光代金五十  
收ヲ遺ハサル

一 同日ニ蜂浪賀熊太郎久服ノ御礼ト

メ真御太刀十則光收時服十黄金ニ十  
收ヲ献上御目見ノ上ニテ從四位下

ニ叙セラレ松平淡路守ニ改メ御字

ヲ玉ヒ經矩ト号ス且又御腰物備州安吉

代金三十玉フ

一 同日ニ健目ノ御礼トメ竹内主殿金

ニ收本多右衛門金ニ收遠山七一助

半九席金ニ收大沢右京大夫金ニ收

ヲ献上

一 河月ニ大沢兵ア大城遺物トノ御力

ニ字國後代ヲ  
全七收丑酉ヲ  
上

一 河月廿八日ニ候五位下諸大夫ニ仰

甘クニ、面々服坂主殿ツ中替少  
神胃淡

路寺酒井岩千代ヲニ雅正以  
男下野寺諏

諸右京ヲ河備寺土井式アヲ別式アカ

月備寺備後寺土井式アヲ別式アカ

浦板倉大京石見寺  
男越中寺水野盛ア

右河門ヲ朽木帶刀  
太夫男伴与寺民アカ浦

水野教馬ヲ備前寺ニ任ス

一 河日ニ板衣ニ仰セ付ラニ面々石川

又四郎伏見勘七郎如菱源大活門松

平仁右活門野一色頼母ア治兵活

高木惣十郎今村彦兵活等々

一 同月廿九日 堀田備中守丑子石廊  
加増 玉下

玉露叢卷二十四終

一 延宝七年正月十四日 松平九十郎

丹波筋捨地仰付 九 依 今 日

九十郎家臣共 三 白銀時服 木 玉 下

一 同月十五日 三 細川越中守 繼利 城下

肥後熊本出火 侍屋鋪七十五軒 燒失

一 同月十九日 仰 失 午 太 久 保 八 郎 夫



一 市門跡後ヲ林反四即ニ仰付ケル

一 河日ニ仰步行頭松平新五左衛門跡

一 後ヲ大世忠右衛門ニ仰付ケル

一 二月十日ニ香山河幡寺死去

一 河月十六日ニ木多出雲守へ大和筋

一 檢地仰付ケル依テ今日ニ雲守家臣

共へ白銀時服ホケ玉

一 河月當今去ル十五日之夜ヨリハケ

一 御頭痛同キ十五日ノ晚ヨリ疱瘡

リハケル

一 河月廿一日ニ牧野堪律守ヲ以テ禁

一 裡へ山水ノ軸物一卷御盃一鍔子十

一 卷ヲ進セケル

一 河月廿八日ニ立花飛彈守養母ヲ松

手肥前守へ銀組仰付云々

二月朔日ニ當今御酒湯ヲ沐セ云々

同月四日ニ京都町奉行熊勢日向守

跡後ヲ井上太夫内門諸大夫跡後ヲ

ハ佐野吉之丞へ仰付云々

同月五日ニ先頃松平日向守へ播州

筋ノ檢地ヲ仰付云々依テ今日

破家臣へ白銀時服ヲ玉ノ

同月七日ニ當今御痘瘡御杖然ニ付

テ御祝儀トメ大沢兵卫太夫ヲ以テ

白銀五百枚 御小袖廿

鶴一 昆布一箱

錫一箱 御樽二箱

法皇御所へ

一 黄金三拾枚  
一 锦二百抱

一 鹤一  
一 昆布一箱

一 錫一箱  
一 御樽二荷

本院御所へ

一 白銀二百枚  
一 鶴一

一 昆布一箱  
一 錫一箱

一 御樽二荷

新院御所へ

一 右司断

一 女御御方へ

一 右河祈

一 女后宮へ

一 白銀百枚  
一 御香一箱

一 樽一荷

右之通進セラル

一 白銀五十枚

鷹司関白

一 同 二十枚

花山院大納言

一 同

千種前大納言

一 同 二十枚

今川右大将

一 同

柳原前大納言

一 同

持明院前相公

一 同

中園前相公

一 白銀三十枚

勾當内侍

一 白銀二百枚

惣女中

右ノ通遣ハ廿九

一 同月十三日記伊中將殿御袖トメ文

ルニ依テ昨十二日ニ御奥方ヨリ御

祝儀トメ御樽看ヲ献上セラル

一 同月十五日 大坂御城 加番内  
右近大夫大岡信濃守山口 修理亮 鳥  
井大京亮 仰也付ラレ

一 同月十七日 水戸 水將殿 疱瘡ヲ煩ハ  
セラル

一 同日 先頃 戸田大門 濃州 筋檢地 仰  
也付ラル 依テ 今日 彼家 臣共 へ 白

銀時服等ヲ玉

一 四月二日 土屋 但馬守 教直 卒 矣

一 同月七日 丹羽 大京 太夫 光室 願

通リ 隱居 領知 十石 七百石 嶋子 丹羽

若狭守 八玉

一 同月十六日 木下 淡路守 在所ニ 於

テ 歿 矣

一 同月十八日 = 戸田越前守へ京都所  
司代役料トメ一万俵ヲ玉了

一 同月廿二日 = 今度叅向ノ勅使院使  
醍醐公將御馳走トメ隅田川へ拖與

ノ為仰也廿九

一 同月廿六日 = 九鬼和泉守へ先頃撰

州辺檢地仰付ラレ依テ家臣共へ

相濟御褒養トメ白銀時服ホシ玉了

一 同日丹羽九京太夫隠居ノ御礼トメ

握令緋五間黄金馬代龜山御葉茶壺

御刀久国代金ヲ指上ラレ若狭守継

日ノ御礼トメ金三十兩綿二百抱ヲ

献上

一 同日 = 香山和泉守家督ノ御礼トメ

金二十枚錦百把ヲ献上同キ香山町  
備守遺物トテ御茶入丸壺御口兼代金

二十枚ヲ指上ル

一 同日ニ先頃小笠伊勢守石川若狭守

ハ丹波筋和泉辺ノ檢地仰セ付ラレ

ニ依テ今日彼兩家来ヘ御慶義トメ

白銀時限ホヲ玉ヲ

一 同月本ル廿四日ニ本多中務太神正

是和泉郡山ニ於テ死去

一 二月五日ニ館林相公綱吉公君子誠

生

一 同月十二日ニ館林殿君子ハ七夜ノ

御祝儀トテ公方家ヨリ品々ヲ進セ

ラレ

所謂若子へ

御守服着

大文字代金  
二十五枚

白銀百枚三種二荷

館林相云へ

白銀二百枚時服共三種二荷

河篠中へ

白銀二百枚巻物二十卷三種二荷

桂昌院殿へ

黄金拾枚縮緬二十卷

右一通リヲ遺ハサレ

河十陪臣宝賀下從守叔浦大隅守牧

野備後守曾我伊賀守金田遠江守へ

白銀二十枚時服丑ウ室賀甚四郎本

庄平十郎黒田惣右衛門叔浦矢九郎



本庄市郎左衛門 = 白銀廿枚時服四  
ワ、向後清左衛門前田孫布郎植村  
五郎八押田三左衛門へ白銀十枚時  
服三ツ、戸田羊七郎植五太又曾  
我十左衛門内後十兵衛 = 時服四ツ  
田沢治左衛門梶新右衛門山口五  
郎兵衛時服三ツ、吉田策庵羊井急  
庵喜多村安春小嶋河舟へ時服二ツ  
、且又廿中古屋末以呂波へ白銀二  
十枚ツ、加武山崎局へ白銀二十枚  
ツ、沢野天留へ白銀十枚ツ、惣女  
中へ白銀二百枚ヲ玉了  
一 右ノ俵ニ付テ館林宰相殿ヨリ御太  
目録白銀二百枚錦百把ヲ献上

一 同月廿九日 江府堀所ヨリ火敷  
所焼失依テ倣ニ溝口信濃寺南門徑  
江守津極越中寺戸沢能登寺火消役  
ヲ仰セ付ラル 兩國橋ヲ京極備中寺  
十リ右ノ面ニ新観奉書ヲ以テ仰セ  
付ラル

一 六月十二日 土屋但馬守教直遺物  
トメ御刀 備前兼光代金 御簿布袋一  
幅 鹿尾 河姓相模守者ヨリ指上ル  
一 同月十四日 大坂町奉行石見石見  
寺跡後ヲ設乐市大坂門ニ御加増千  
石ヲ玉ヒ仰付ラル

一 同月十五日二先頃松平大和守直規  
へ播州掾地仰付らる依り家臣共へ

今日白銀時服亦ら玉了

一 同月十八日二本多実平少補康將願

ノ通り隠居本領七百石ノ内六百石

本多隠岐守康慶下徳守俊一石本

多藏平忠恒康兵將男捕二分ケ玉了是

又願二依り二

一 同日二加賀成甲斐守直澄斐願ノ通

隠居拙子土佐守直清へ家督異変十

少玉了

一 同日照高院御門跡費忝

一 同月十九日二甲府中將徳豊江へ使

衛左府云ノ姫君緑組ヲ仰也付らる

一 同月 = 稻葉丹後守義雅糧ヲ松平隠  
山守定直へ銀組ヲ仰セ付ケル

一 同月廿六日 = 本多平八郎政武へ三  
万石御加増都合十万石和州郡山

ヲリ奥州福島へ所替ヲ仰セ付ケル

一 同日 = 松平日向守信之へ一百五十  
石御加増 = 都合八万石播州明石

ヲリ和州郡山へ得替之

一 同日 = 本多忠雲守政利へ三万石御  
加増都合六万石 = 播州明石ノ城

主 = 仰セ付ケル

一 同日 = 本多肥後守政真 内記  
政務男 本高

一 万石 = 播州完栗へ得替之

一 同日 = 久世大和守廣之率去

一

同日ニ先頃山列辺檢地ヲ石川全殿

一

頭へ仰セ付ラレ依テ御褒養トノ家

一

臣ホへ白銀時服トヲ玉ヲ

一

同日廿九日ニ久世大和米重之へ上

一

使堀田備中守ヲ以テ香奠白銀二百

一

牧ヲ下サレ

一

同日ニ仰セ付サレハ日光山參詣ノ

一

儀四品以上限ルヘシ諸大夫ノ面々

一

家督相續ノ節タリ凡毎用タルヘシ

一

尤部屋住ノ面々凡右同前ニ

一

七月十日ニ土井能登守利房堀田備

一

中守正俊兩人ヲ御座ノ間へ召テ奉

一

書判形ノ列シ仰セ付ラレ其上二百

一

五千石ヲ御加増シ玉ヲ兩軍都令

百石十リ

一 同日ニ松平内膳基廻石川義作寺乗

政兩人へ丑午石ツ、御加増ヲ玉フ

都合因幡守へ一百二十石 御旗本ノ

批事シ仰セ付ラル且又因幡守ハ御

敷奇屋方御厩方義作寺御腰物方御

鷹方支配人

一 同月十二日ニ御加増ノ御礼トノ松

平日向寺時服十黄金二十枚本多平

八郎時服二十黄金三十枚本多出雲

寺時服十黄金二十枚ヲ献上

一 同月十八日ニ本多平八郎願ニ依テ

金三万兩拜備ヲ仰セ付ラル是得替

ニ付テ十リ

一 同月廿一日先頃阿呂ノ檢地ヲ太多  
兵部取辨へ仰也付ラル依テ今日家  
臣共へ白銀時服ホヲ御褒義トメ玉

一 同月廿二日ニ録組仰也付ラル、面

々者織田山城守娘ヲ高木肥前守へ  
堀田備中守娘ヲ阿戸長吉島へ配

内膳正娘ヲ堀二四郎へ毛利日向守  
娘ヲ井上筑後守へ松平志广守娘ヲ

新庄主殿へ堀田丑郎大内侍門娘ヲ加

藤左京へ柴田隱岐守娘ヲ筒井除十

郎へ石川彦五郎娘ヲ安田久次へ小

少甚大内侍門娘ヲ加藤千八郎へ三好

備前守娘ヲ渡辺兵九郎へ諏訪備前

一 宇娘ヲ神保二節兵衛へ仰せ付ラレ  
同日ニ井上左衛門從五位下丹波守

ニ任ヌ

一 同月廿八日ニ金廿枚時服十ツ本多

一 隱岐守家督ノ御礼トメ献上本多織

一 下分知ノ御礼トメ金五枚時服三ツ

進上

一 同日ニ本多兵衛ノ御禮隱居ノ為付テ

一 金馬代時服十御照指左文字代ヲ指

上ラレ

一 同日ニ御加増ノ御礼トメ士井能登

一 守堀田備中守金十枚時服五ツ、ヲ

献上

一 八月三日ニ井戸十右衛門ヲ福嶋領



本多平八郎へ引渡レノ為ニ遺ハ廿  
ルハキ由

一 同月五日ニ中根日向守死去

一 同月六日ニ久世大和守遺領五万石

相違十夕嫡子出雲守ニ玉ヲ且又大

和守願ハ通リ新田三千石嫡子平八

郎ニ分取玉ヲ

一 同月八日ニ毛利日向守就隆死去

一 同月十二日ニ稻葉石見守正久三枝

撰津守俊兩軍ヲ御側衆ニ仰セ付テ

ル

一 同日ニ大御番以三枝撰津守跡役ヲ

稻垣備後守御書院番以稻垣備後守

跡役ヲ池田帶刀御書院番以稻葉石

見字跡役ヲ世ノ隱岐守御小性組番  
以世ノ隱岐守跡役ヲ滝川若狭守御  
小性組番以池田帶刀跡役ヲ森川撰  
津守へ仰せ付ラレ

一 同月十三日ニ館林徳松殿御宮参則  
千大魚へ入せラレ御祝儀トメ白銀  
二百枚時服二十ヲ進上御對顔ノ刻

御腰物七和包永代金五十枚ヲ

公方家ヨリ遣ハサレ

一 同日ニ能勢撰味守夏守雲守ニ改

一 同月十四日ニ木下淡路守利貞遺領  
相違ナク二万五千石ノ内二万三千  
石嫡子木下宮内二千石二男金森内  
記ニ分ケ玉フ是願ニ依テ人

一 同月廿八日ニ土井能登守堀田備中  
守ヲ召テ来月ヨリ御用番相勤メ連  
判亦仕ルベキ由上意ニ

一 九月廿日ニ酒井日向守忠能夏駿河  
ノ田中へ一万石御加増都合四万石  
ニテ得替仰セ付ラル

一 同日西尾隱岐守忠成丸高二万五千

石ニテ信州小諸へ取替仰セ付ラル

一 同月十一日ニ西尾隱岐守八金子三

千両并備ヲ仰セ付ラル

一 同月十二日ニ久世守雲守去屋相模

守西軍へ参者後ヲ仰セ付ラル

一 同日ニ京極信濃守願ノ通り罌ヲ猶

子ニ仕へキヨシ

一 同日青揚院殿甲府一周忌ニ付テ傳

通院ニテ御法事アリ依テ御香奠白

銀二百枚ヲ上使稻葉義濃寺ニ以テ

遣ハサレ

一 同月廿日ニ宇治ノ万福寺ノ住木菴

願ノ通隱居後住ニ弟子惠林ヲ仰セ

付テ

一 同月廿一日ニ養堂主馬能辨惣十郎

宮城監物田中孫十郎ヲ卸目付役ニ

仰セ付ラレ

一 同日ニ彦坂壹岐守大目付ニ仰セ付

ラレ

一 同月廿七日ニ本多肥後取替ニ付テ

白銀百貫目拜備人

一 十月四日ニ設楽市左番門ヲ從五位  
下肥前守ニ任ス

一 同月十八日ニ毛利元元繼目トメ御

一 礼黄金十枚綿百把ヲ献上同十毛利

日向守遺物トメ御刀備前長義代金

十五枚ヲ指上ル

一 同月廿七日ニ相馬守羽守與州中村

ニ於テ死ス

一 同月西本願寺江府ニ於テ再貞成

一 十一月十九日ニ東本願寺隱居

一 同月廿七日隱居跡目八面々

有馬左衛門佐願ニ依テ隱居木高五

万石嫡男有馬周防守新田千八百石

二男有馬求馬新田千石三男有馬七

之众二介个玉了是又願十日土古河  
内宇隱居本高二万石、内一方八千  
石土方監物二千石二男土方民了人  
介个玉了是又河内宇願二依了之  
十二月六日二石谷是門守禁中方願  
通役御免

一 同月十日二家督、御礼卜又右馬周

防中金二十枚綿百把分地、御礼卜  
又右馬求馬有馬七之众兩輩金馬代  
二 献上同中右馬左侍門佐隱居、又  
二 付了刀備前众成代時服三金馬代  
二 指上凡

一 同日二家督、御礼卜又土方監物金  
十枚時服三二献上同中土方河内

隱居ノ為ニ付テ御服指代栗田十口團吉

金馬代ヲ指上ル

一 同日ニ本多忠次御門千石ノ御加増

ニテ駿河城番天守主馬跡役ニ仰也

甘ウル

一 同月十一日ニ土屋兵平御本領四

千石ノ外ニ千石橋子土屋備前千

儀上男正屋左門ニ分テ玉フ是儀ニ

依テ人

一 同月十五日ニ張組仰也廿九面々

森内記娘ヲ松平近江守へ有馬左衛

門佐娘ヲ牧野左京へ秋月佐渡守娘

ヲ織田式アへ仰也甘ウル此外ハ皆

ク

一 同月十八日 東宋井へ相馬中羽子  
 遺領六百石相違十石五丁 東氏  
 相馬卜改公  
 一 同日 大野五郎右衛門 今九百石  
 八脚加増 玉七 都合三千石 一丁脚  
 勘定 一 仰せ付 一 世 一 角 大野門  
 跡 一

一 同日 長崎奉行 野原九郎 跡 一  
 川口源九 湯門 一 五百石 一 脚 加増 一  
 玉七 仰せ付 一  
 一 同日 林 友 四 郎 加 友 勘 右 衛 門 算 五  
 高太夫 鳥居源七 郎 一 脚 先 年 一 仰 せ  
 付 一  
 一 同月廿二日 一 甲 府 中 將 殿 脚 曾 礼 一



付テ上使土井能登守ヲ以テ甲府中  
 將殿へ白銀三百枚時服廿三種二荷  
 順昌院殿へ金二十枚段子廿卷三種  
 二荷ヲ遣ハサレ且又野肥前守戸  
 田伊与守巴部少羽守へ銀五十枚  
 時服五ツ渡辺吉左衛門＝銀三十枚  
 二時服五枚丹波守＝銀三十枚時  
 服三時用人六人銀二十枚＝時  
 ヲ、御納戸十八人＝銀二十枚＝時  
 服二ツ、御小納戸十二人＝銀二十  
 枚時服二ツ、諏訪主殿山口孫次郎  
 戸田十九門後枝帶刀＝白銀二十  
 枚ヲ、女中小倉＝銀二十枚富小路  
 久米小路山野＝銀十枚ツ、上筋人

方及副局三人へ銀二十枚ツ、廿  
へ銀十枚惣廿中へ銀二百枚真家老  
二銀十枚時服ニツ下廿ル

一 同日冠目ノ御礼トメ相馬宋女御太  
口金馬代黄金二十枚御小袖十ツ献

上 同キ相馬出羽守遺物トメ御刀前備  
行衆代金指上ル  
三十枚

一 同日甲府中將殿ヨリ管姻相濟御礼

トメ御太刀 固經代黄金三十枚綿二

百把ヲ献上依テ公方家ヨリ御腰指

備前即直代拜領之

一 同月廿七日ニ官位昇進ノ衆中

松平淡路守經矩從四位下侍從ニ仕

又土井能登守利房從四位下ニ叙ス

堀田備中守正俊從四位下 = 叙又高  
 山二郎四郎基玄從四位下民戸大捕  
 = 仕又由良新六頼繁從四位下信濃  
 守 = 仕又松平龜之介頼寧從四位下  
 肥後守 = 仕又 是松平播 從五位  
 下諸太夫 = 仰也付 之 面々本多平  
 八郎政武 ヲ 中務少捕牧野老之 云 忠  
 江 ノ 駿河守相馬末女昌胤 ヲ 彈正忠  
 木下宮内利庸 ヲ 肥後守土方監物雄  
 隆 ヲ 山城守松平頼母直能 ヲ 義作守  
 本多織戸忠恒 ヲ 伊予守小室右京言  
 国 ヲ 大和守松平与十郎忠易 ヲ 安房  
 守松平巳之介照貞 ヲ 筑前守保科兵  
 部正祥則 ヲ 兵戸中捕松平傳三郎重

宗ヲ但馬守渡辺平次海月經太ヲ甲

殿陪長門守松平八次海月康兼ヲ水

殿陪駿河守三任大水

一 河月廿九日ニ御加増ヲ玉ノ面々

大久保山城守二千俵酒井壹岐守千

俵柴田和泉守千俵香山信濃守千俵

稻葉光羽守千俵ヲ玉ノ

一 同日ニ鍋島加賀守直能願ニ依テ隱

居仰セツケタク

玉露叢卷三十五終



